

【原則2に基づく開示要求時の提出項目】

1. 開示要求者の該当性

(1) 開示要求者の立場

[本人／代理人のいずれかを記入]

(2) 実現しようとする、自らの権利または法律上保護される利益

[対象となる権利・利益の内容、および開示要求者との関係を具体的に記入]

(3) 実施中または準備中の法的手続

手続の種類: [訴訟／調停／ADR／その他の法的手続]

現在の状況: [実施中／準備中]

手続の概要: [対象、争点、準備状況などを具体的に記入]

(4) 代理人として要求する場合

(※本人による要求の場合は「該当なし」)

本人の氏名・名称: [記入]

代理人の資格: [弁護士等の資格を記入]

委任・代理権の説明: [本人から委任を受けていること、および代理権の範囲を記入。]

2. 回答の具体的な利用目的

[当社からの回答を、どのような目的・手続で、どのように利用する予定かを具体的に記入]

3. 照会対象と開示を求める具体的な理由

(1) 照会対象のURL等

[対象のURL等を記入。複数ある場合は番号を付けて列挙]

(2) 照会対象の説明

[URL等が示すコンテンツ、および確認対象の箇所を記入]

(3) 当社に開示を求める具体的な理由

[上記の情報との関係で、当社に対し、学習・検証等に用いたデータに含まれているか否かの開示を求める理由を具体的に記入]

【原則3に基づく開示要求時の提出項目】

1. 使用した生成AIモデル・システム・サービス

(1) 名称

[生成物の作成に使用した、当社のモデル・システム・サービス名を記入]

(2) モデルのバージョン

[分かる場合は記入。不明な場合は「不明」と記入]

(3) 名称が不明な場合の特定情報

[利用したページのURL、アプリ名、利用画面に表示された名称など、対象を特定できる情報を記入。名称を記入済みの場合は記入不要]

(4) 生成日時

[分かる範囲で記入]

※ご記入いただいた情報だけでは対象を特定できない場合は、追加情報のご提示をお願いします。

2. 開示要求者が作成した生成物および使用したプロンプト

(1) 生成物を作成した方

[開示要求者自身が、上記のモデル・システム・サービスを用いて当該生成物を作成したことを記入]

(2) 生成物

[テキストの場合は生成物を貼り付け。画像・音声・動画等の場合は、当該生成物を確認できる共有URL等を記入]

(3) 生成時に使用したプロンプト

[使用したプロンプトを貼り付け。複数ある場合は順番が分かるように記入。画像等の入力を含む場合は、その内容を確認できる共有URL等も記入]

※本文への貼り付けや共有URL等による提示ができない場合は、その旨を記入してください。受付後に提出方法をご案内します。

3. 回答の具体的な利用目的

[当社からの回答を、どのような目的で、どのように利用する予定かを具体的に記入]

4. 照会対象と開示を求める具体的な理由

(1) 照会対象のURL等

[生成物と同一または類似するコンテンツが掲載されたURL等を記入。複数ある場合は番号を付けて列挙]

(2) 生成物との同一性・類似性

[掲載コンテンツのどの箇所が、生成物のどの箇所と同一または類似しているかを具体的に記入]

(3) 当社に開示を求める具体的な理由

[上記の情報との関係で、当社に対し、学習・検証等に用いたデータに含まれているか否かの開示を求める理由を具体的に記入]